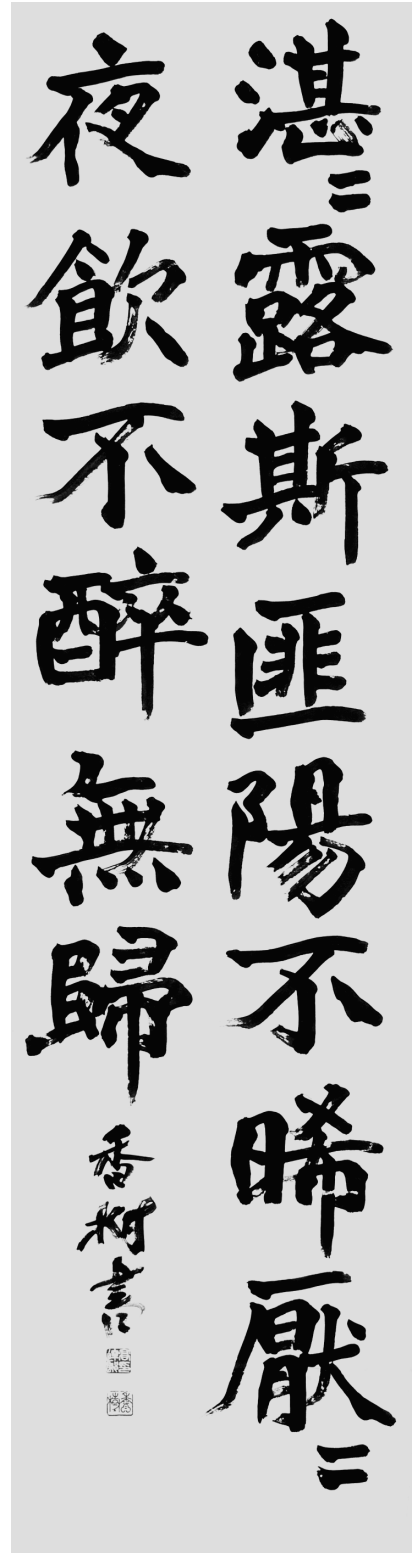


A

高橋 香樹 先生 書

湛湛露斯 匪陽不晞 厭厭夜飲 不醉無歸 (詩經)
 湛々たる露は斯れ陽に匪ざれば晞かず、厭々たる夜飲は酔わざれば帰る無し。



B

鈴木 静村 書

臨書をすることにより、古典の特徴・雰囲気を得し、それをもとに書くことを「仿書」といいます。今回は、「鄭文公下碑」の筆意・結体を持つて書いてみました。「鄭文公下碑」は、ハネ・払い・転折に大きな特徴を持つ懐の広い書です。少しでも表現できたらと思います。



「湛湛」踊り字(符号)を入れ「湛々」とした書作。「々々」は漢字にはない。注意を。「ニ」この形は楷行草に使われる。篆隸楷では小さく「ニ」の形。「厭々」と踊り字にしても可。晞、帰 末画タテ画に変化の工夫を。飲 偏は異体字。酔 末画は力感なく失敗。
 訳：重みのある露は、太陽でなければ乾かない。ゆったりとした夜の宴は、酔わなければ帰れない。

予告 (二月二十二日締切)

海上閑雲孤鶴夢

山頭積雪野梅香 (唐仲冕)

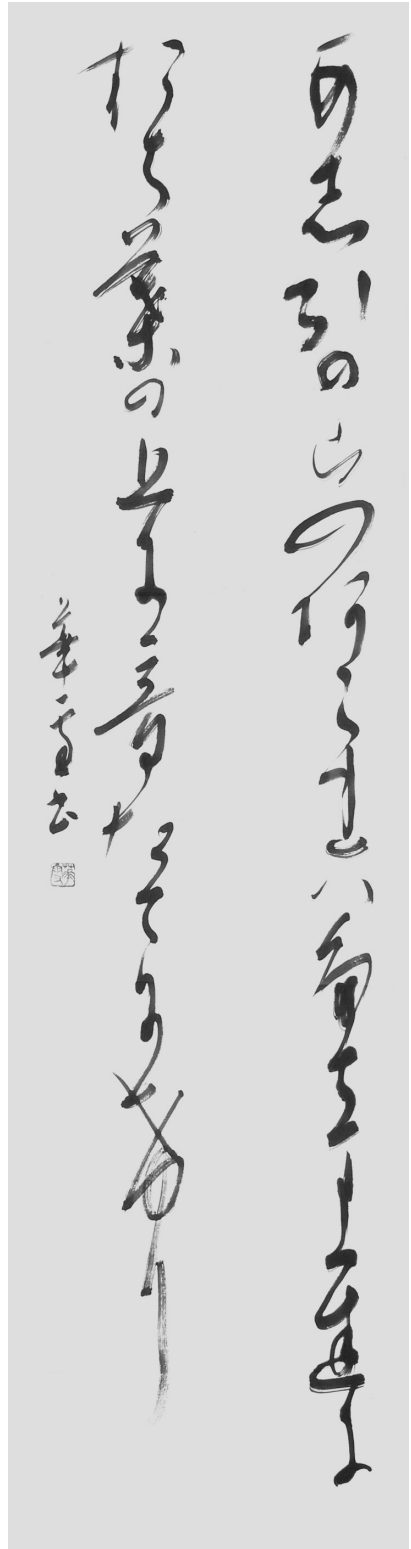
楷書

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

A

平岡華雪先生書

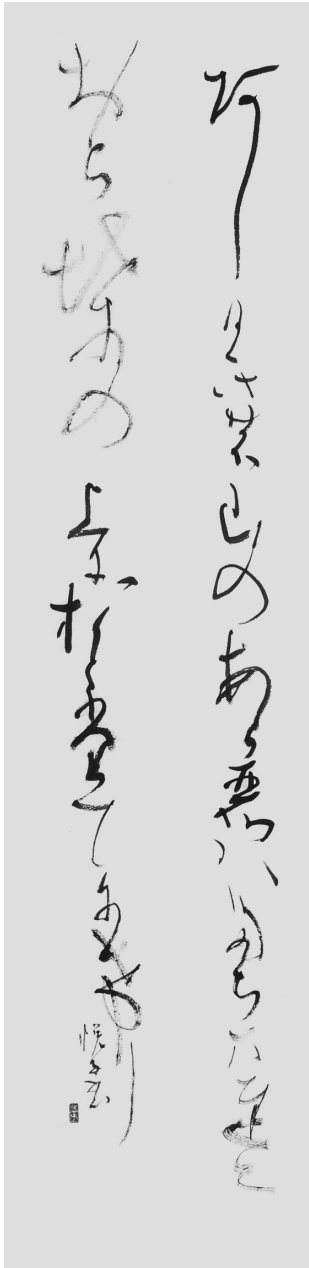
あしびきの山の霰はたちまちに落葉のうへに音たてにけり (齋藤茂吉)
あ志引の山の阿ら連八多ち万遅尔於ち葉の上尔音たて尔希り



B

長野悦子先生書

あしびきの山のあら麗八多ち万遅二おち葉の上尔於と堂て尔希り



学 び 方

書き出しの「阿しびき農」は変体仮名を入れて息を長くゆったりとしたリズムで書く。「山のあら麗八」は墨量を多くポイントにしています。「多ち万遅二」は、筆庄の変化に注意し二行目に渴筆として続けます。「おち葉の」は墨量をぐっと落して大胆な文字で大らかに。二行目のポイントになる「上尔於と堂て」は潤筆で「於」から四文字の連続、次第に線の太い細いの変化をつけ「て尔希り」の終盤に流れを振って筆圧と傾斜で引き締めます。用紙の真中程にポイントを置いてみました。

された。茂吉はあくまでも精神科医を本来の生業とする姿勢は崩さず「歌は業余のすさび」と称していた。息子の北杜夫は「心の九割は歌に文学に打ち込んでいたと思う」とし茂吉の性格上、臨床医は合わず口説療法を主とする診察は苦手であったと評している。

斎藤茂吉は、山形県（現在の上山市金瓶）出身、伊藤左千夫門下。大正から昭和前期にかけてのアララギの中心人物。長男に斎藤茂太・次男に北杜夫・孫に斎藤由香がいる。精神科医としても活躍し院長の職に励む傍ら旺盛な創作活動を行った。その才能は宇野浩二・芥川龍之介に高く評価

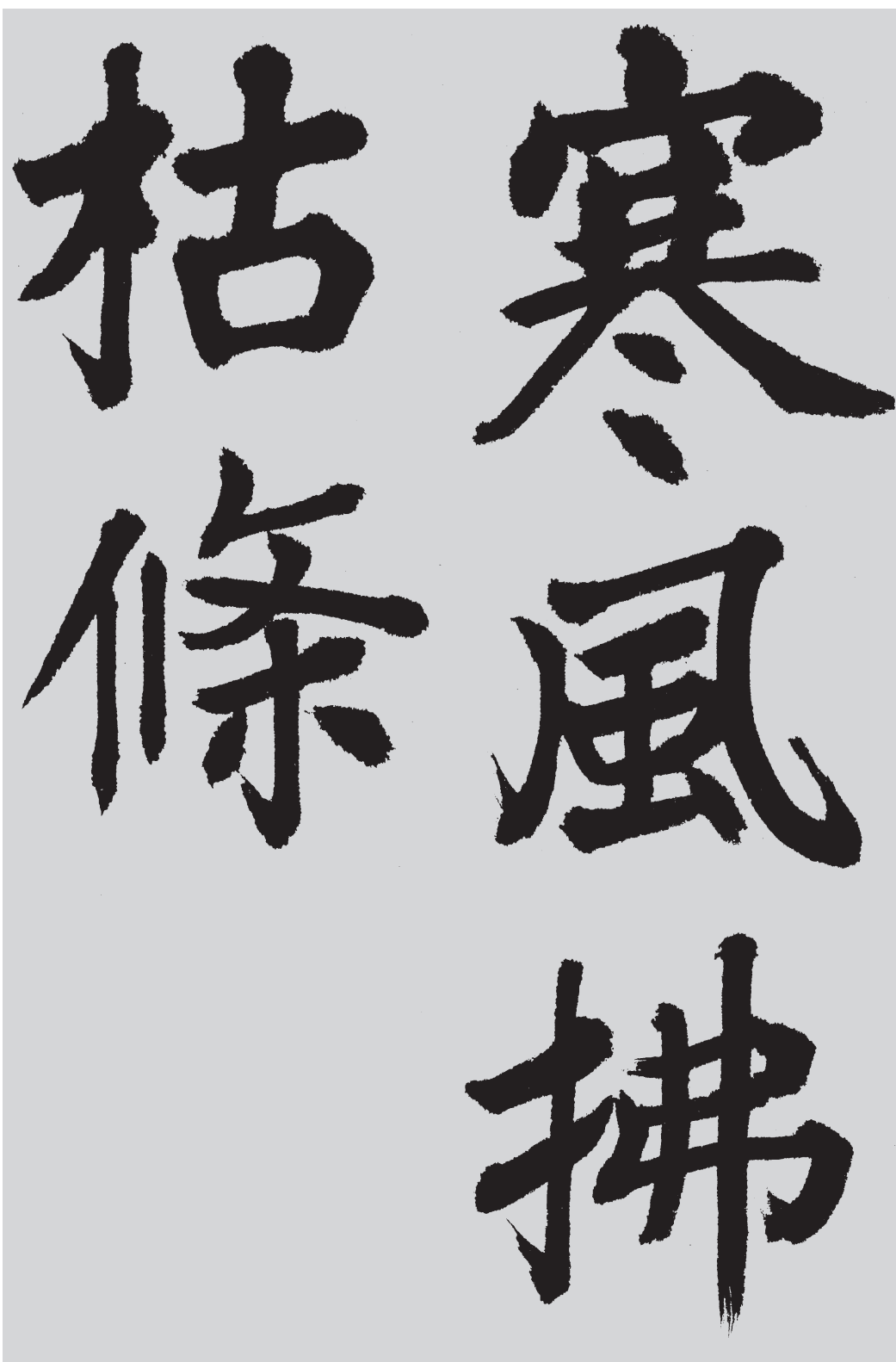
予告 (一月二十二日締切)

常盤なる松のみどりも春くれば今ひとしほの色まさりけり (古今和歌集)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。）
- ・二枚目からの出品（バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

寒風枯條を拂う

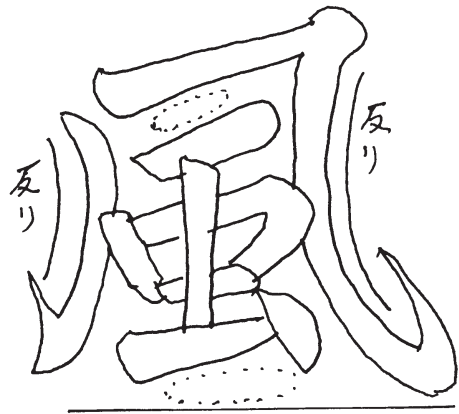
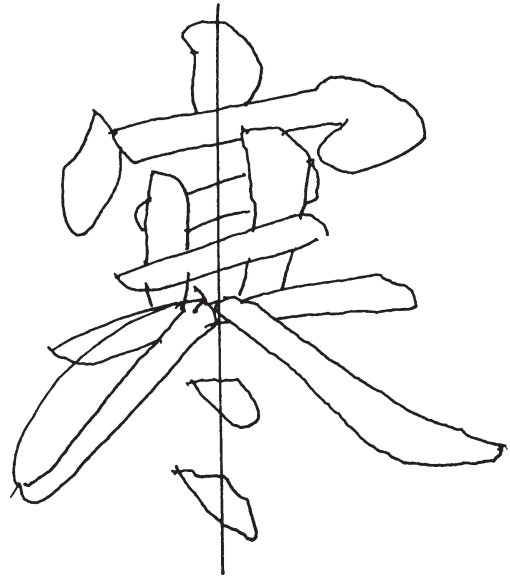
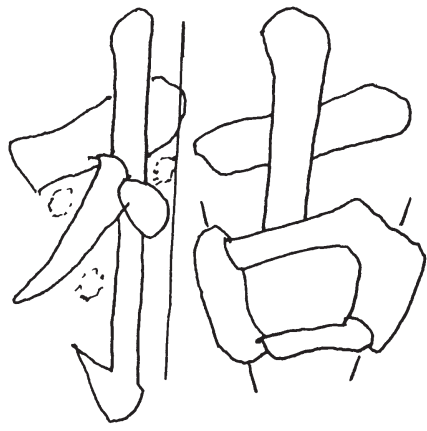


訳：寒風が樹々の枯枝を吹く。

▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ① 漢字部
- ② 支部名または都道府県名
- ③ 氏名または雅号
- ④ 新

会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



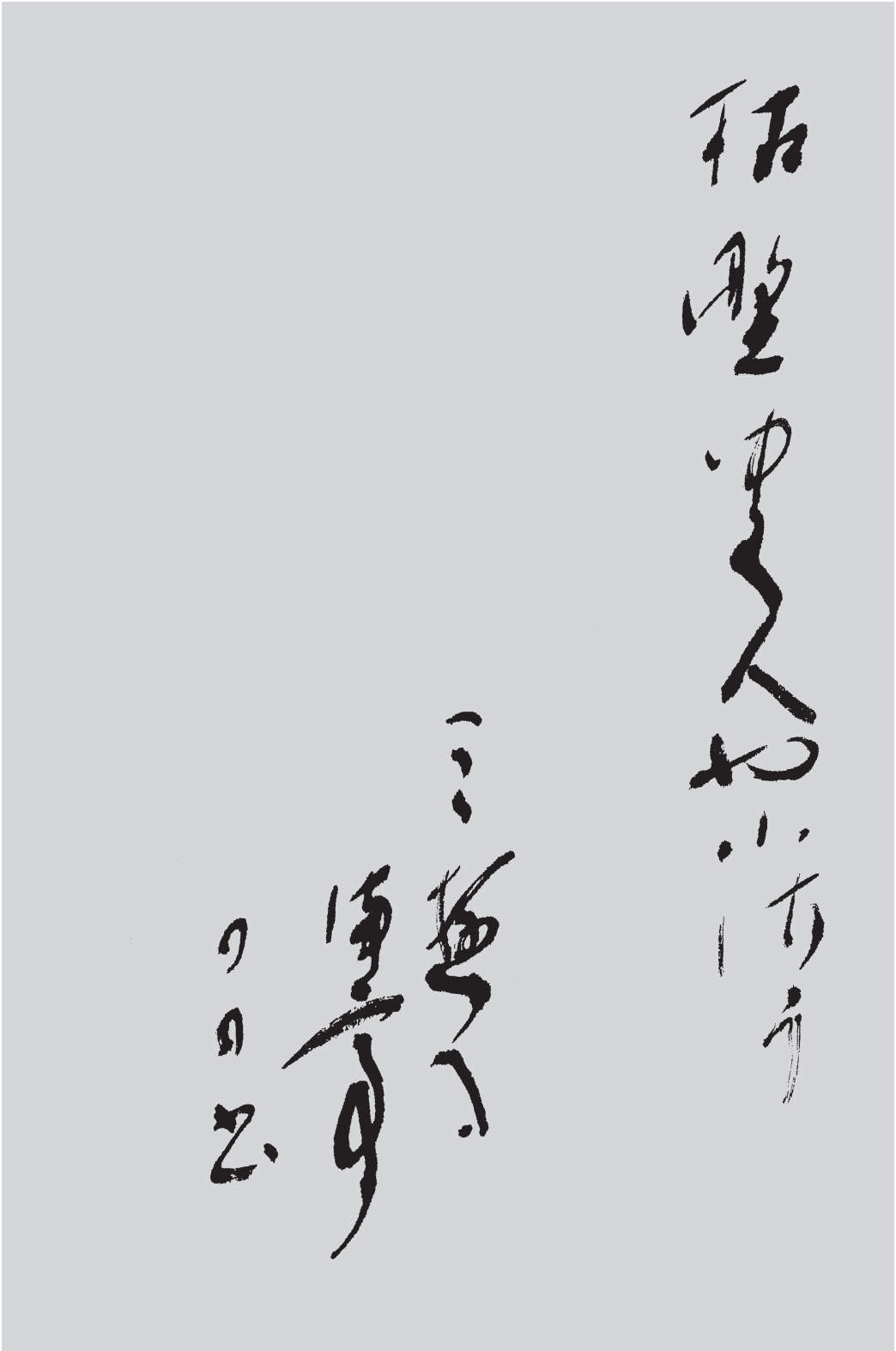
寒の筆順
 筆順はどちらでもよい。
 いろいろと深めてみてほしい。

宀 宀 寒
 宀 宀 寒
 宀 宀 寒



平岡華雪先生書

枯野行く人や小さう見ゆるまで (千代尼)



▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ① かな部
- ② 支部名または都道府県名
- ③ 氏名または雅号
- ④ 新

会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



詩情と筆意を重ね合わせ、

左上半部の余白と左右二群との照応の大きな

ポイントと自問自答を重ね、私なりに書きよんで

みたが、形心けの構成に終わり、余白負けと甚しい。

左群を強調的に用筆したの粗さの先走りの優ち嫌味。いっせいにせよ私には
至難の課題。みなさん、大いに取り組み、打開されるよう期待してまいります。
右群下五、意味がなご自在に駆使、さらに先生の自然体、若人の工夫と打開に期待。



いっせいにせよ

酒井香雨先生書

好行善者 天助以福（桓寛）
 好んで善を行なう者は、天助くるに福を以てす。

好行善者天助以福

酒井香雨

訳：好き好んで善事をすれば、天は助けるのに幸福をもってする。

絹村光豊先生書

はつ冬のころのならひの曇り日は落葉のころのなつかしきかな（若山牧水）
 はつ冬のころ能なら比の曇り日は落葉能ころのなつかしき可那

はつ冬のころのならひの曇り日は

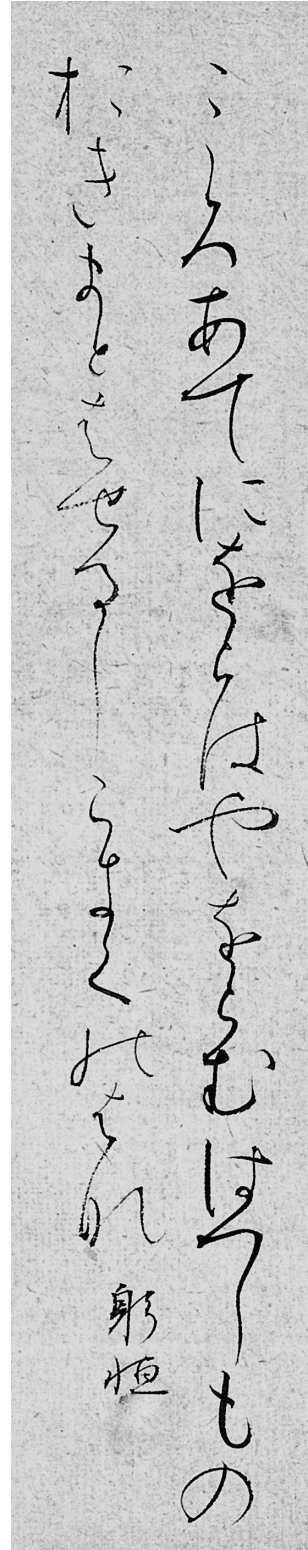
落葉のころのなつかしきかな
 光豊

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

題 課 部 書 臨 幅 条

北島 菁丘 先生 担当 粘葉本和漢朗詠集（上巻） 伝藤原行成筆

※条幅臨書部は出品料無料です。



こゝろあてにをらばやをらむはつしもの おきまどはせるしらぎくのはな 躬恒

（二玄社）

【解説】

凡河内躬恒は「古今集」撰者の一人という歌人で、奇警なアイデアと共に歌の姿に一種の風格があると言われ、即興歌人でもありました。

この朗詠集は、縦二〇cm横十二、一cmの小型冊子本で料紙は中国から渡来した北宋時代のもので、女性が嫁ぐ時の引出物にされました。その為に装幀、料紙の文字の美しさが必然とされ、気品が生まれたものとして絶賛される所以であります。

今回は線の学び方を取り上げました。

よい線⇨抑揚のある太い線と細い線

滲む線と掠れる線⇨潤筆と渴筆

素直な線と突っ込みの効いた線（順筆と逆筆）

直線と曲線の緩急⇨速筆と遅筆

弾く線と押さえる線

この様に色々な線を古筆から学び取って修煉し、書の美、かなの美しさを求めて精進しましょう。

（学び方）

三字目で圧を

ふところ広く

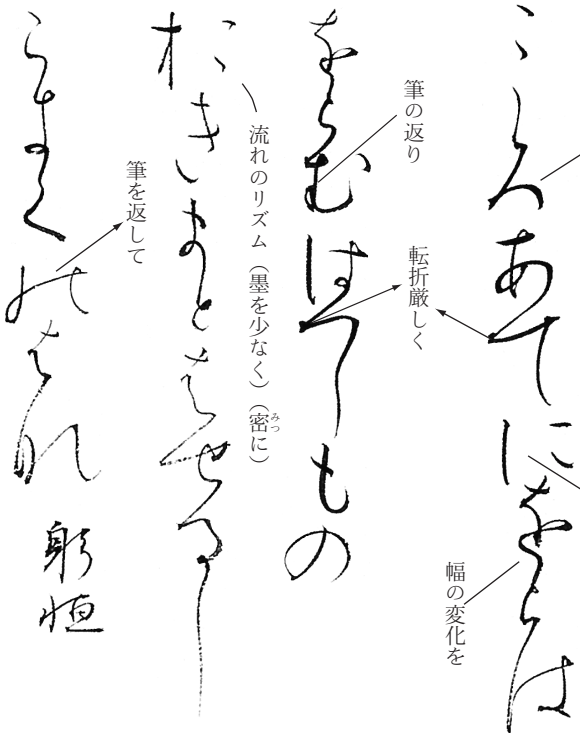
筆の返り

転折厳しく

幅の変化を

流れのリズム（墨を少なく）（密に）

筆を返して



◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

星野春陽先生書

接人終靜溫
人に接する終には静温



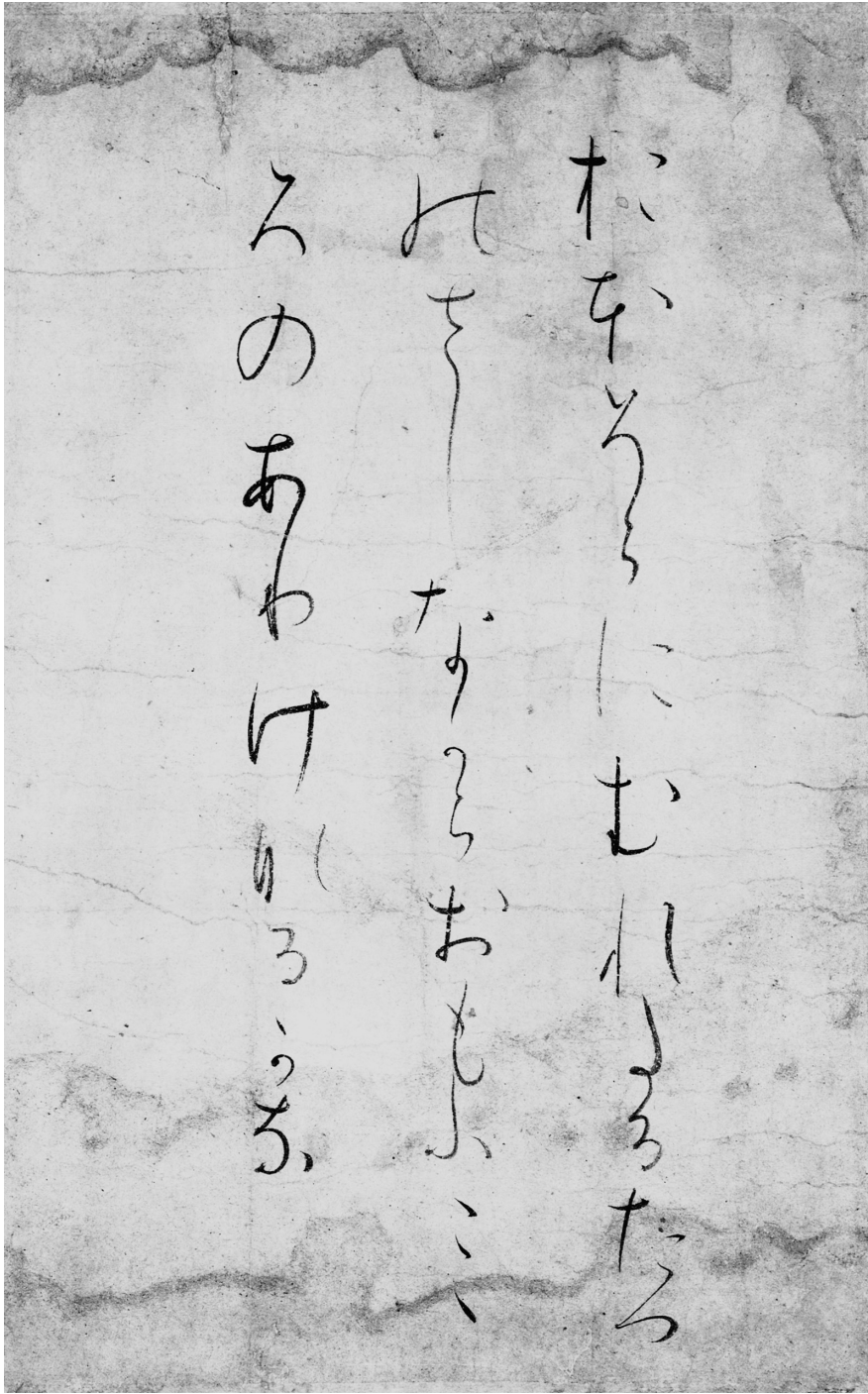
訳…人に応接するには、其終には静かで物柔かにせねばならぬ。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

か な 臨 書 参 考

蓬^{ほう}
菜^{らい}
切^{ぎれ}

伝藤原行成筆



五島美術館蔵

於^於本^本曾^曾らにむれたる^多たづのさしな^能からおもふ^可ころのありげ^利なるか^耶な^可奈^奈 (拾遺和歌集)

◆随意部参考として出品してください。

随 意 部 参 考

藤 江 菜 雪 先 生 書

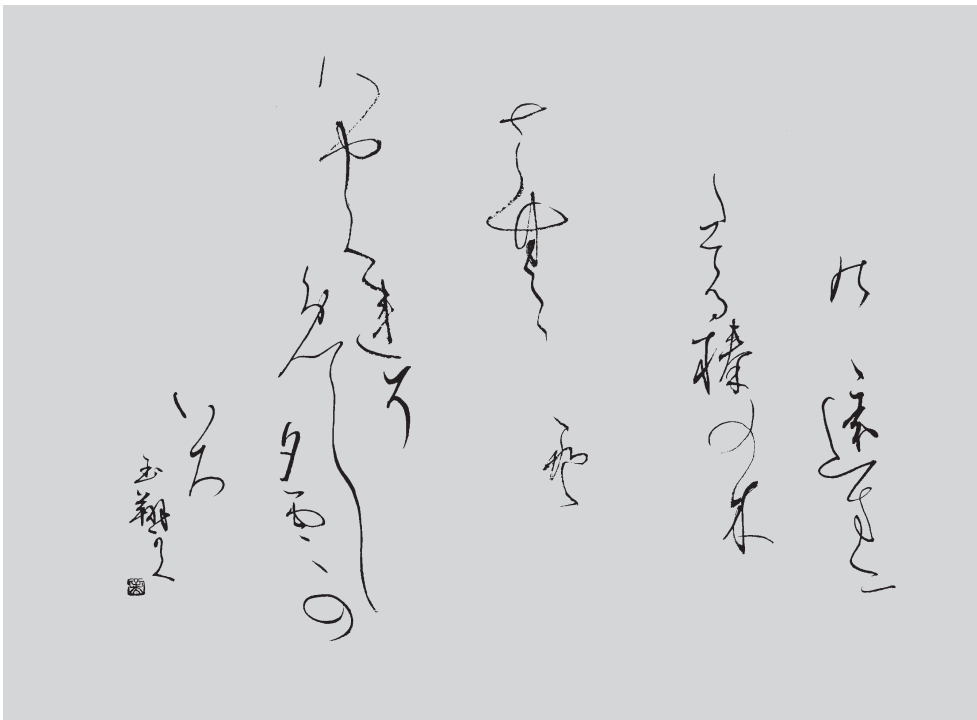
寒燈竹屋間（賈島）
寒燈竹屋の間。



訳：冬の夜の燈は竹の中の家屋から寒げに見える。

福 田 玉 翔 先 生 書

野の遠方に立てる榛の木さむざむと早暮れそめし夕雲の色（尾山篤二郎）
能、遠方二多てる榛の木さ無、登八也く連曾免し夕雲のいろ



添削又は手本希望者は本会規定により直接先生にお申し込みください。藤江菜雪先生（〒224-0062 横浜市戸塚区矢部町2071-24） 福田玉翔先生（〒431-1112 浜松市西区大人見町12-219）

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

少女は軽やかに地面を蹴って走り出す。よくバネのきいたフォーム。クラスの中で一番のランナー！

時の歩みは三重である。未来はためらいつつ近づき、現在は矢のようにはやく飛び去り、過去は永久に静かに立っている。

課題1 (初段階以上)

「時」の歩みは三重である。未来はためらいつつ近づき、現在は矢のように速く飛び去り、過去は永久に静かに立っている。

(シラーの言葉)

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に、次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (3) 会員は無料・会員外は四〇〇円
- (4) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと)。
- (5) 課題1 六〇〇円
- (6) 課題2 三〇〇円

課題1 石原春香先生 〒三七〇一〇八七

高崎市楽間町二四〇二一

課題2 松浦江波先生 〒五二一〇二四三

相模原市緑区橋本六ノ四二ノ一九

課題2 (初段階以下)

少女は軽やかに地面を蹴って走り出す。よくバネのきいたフォーム。クラスの中で一番のランナー。

(「駅までの道をおしえて」)

伊集院 静